

令和7年度年間指導計画・評価計画(2年歴史的分野) 担当:北川・宮澤

月	単元名	時 数	時 限	学習の目標（学習課題） 及び内容	単元 評価の観点			お も な 評 価 規 準
					① 知識・技 能	②思 考・判 断・表 現	③主 体的 に取 組む 態 度	
4 5 6	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会い と全国統一	5	1	「中世日本の振り返り」 中世の日本はどのような時代だったか	○	○		①中世の特色を主な出来事を振り返りながら理解している。 ③近世の学習課題を意識して主体的に追究しようとしている。
			2	「ヨーロッパ人との出会い」 日本社会にどのようにヨーロッパの文化が広まったか	○			①ヨーロッパ文化の日本への広がりを説明することができる。
			3	「信長の統一事業」 織田信長の何が他の大名と違ったのか？	○			①急速に勢力を拡大した織田信長はの政策に着目し、鉄砲の活用、楽市・楽座など、他の戦国大名との違いを理解する。
			4	「検地と刀狩」 検地と刀狩りは、どのような影響を与えたか？	○	○	○	②この政策により社会がどのように変化したかを考察し、発表している。 ①それまでの時代とどのように変化したかを理解している。
			5	「海外貿易と朝鮮侵略」 豊臣秀吉は外国とどのような関係を取ったか？ 「桃山文化」 安土桃山時代の文化はどのような特色を持っているか？		○	○	①秀吉の海外貿易と朝鮮侵略の政策について理解している。 ③映像資料から秀吉について関心を持つ。【ICT】②文化の特色を時代背景から考え、資料をもとに適切に表現している。 ③武将や豪商などの生活文化の展開から課題を主体的に追究・解決しようとしている。
	2.節 江戸幕府の成立と鎖国	7	6・7	「江戸幕府の成立と支配のしくみ」 江戸幕府はどのように全国を支配したか？	○	○	○	①②幕藩体制が長期にわたって持続した理由について、大名の配置の地図を活用して、多角的に考察している。 ③260年間続く戦乱のない時代が生まれた理由を意欲的に追究しようとしている。
			8	「さまざまな身分とくらし」 江戸幕府はどのようにして人々を支配したか？	○	○		①幕藩体制は、武士と農工商の分離を軸にした身分制を基礎に成立していたことを、理解することができる。②身分別の人口の割合のグラフを活用しながら、幕府が百姓の支配のためにどのようなふうをしていたかを調べる。
			9	「貿易の振興から鎖国へ」 江戸幕府の対外政策はどのように変化したか？		○		②幕府による禁教や貿易統制の政策の目的を、幕藩体制の維持という観点から考察している。
			10	「鎖国下の対外関係」 江戸時代の日本は世界とどのように結ばれていたのか？		○		②鎖国政策の目的を諸資料を基に考えることができる。地図を活用しながら、日本の対外関係をまとめることができる。
			11	「琉球王国やアイヌ民族との関係」 江戸幕府は琉球王国やアイヌとどのような関係を持ったのか？	○	○		②琉球の様子や幕府・松前藩によるアイヌ支配のしくみについて、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。①蝦夷・松前を拠点とする交易圏の広がりや、アイヌ文化の独自性について理解している。
			12	☆時代の転換点 3人の中で時代を動かした人物は誰か？		○	○	②中世から近世へ時代が転換していったことを信長・秀吉・家康の政策から考えることができる。 ③検地や刀狩りによる時代の変化を主体的に追究している。【ICT】
7 ～ 12	3節 産業の発達と幕府政治の動き	12	13	「農業や諸産業の発達」 江戸時代にはどのような産業が発達したか？		○		②新田開発、農業技術の進歩、商品経済の発達、物流の整備が一体的に展開したことを、具体的な資料から読み取り、考察することができる。
			14～18	「都市の繁栄と元禄文化」「身近な地域の歴史」 江戸時代の交通路や都市はどのように発達したか？ 江戸町人のくらしはどのようなものだったのか？	○	○	○	①江戸時代には、都市を中心とした町人文化が発達したことを理解している。地図や資料から交通路が整備され、江戸や大阪などの都市が発達したことを読み取っている。 ③江戸町人のくらしについて映像資料から意欲的に追究しようとしている。【ICT】 江戸時代の文化や産業について主体的に調べまとめようとしている。【ICT】
			19	「享保の改革と社会の変化」 吉宗の改革にはどのような特色があったか？	○	○		②享保の改革の目的・内容・結果を、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。①教科書のグラフから、江戸時代のききんと一揆・打ちこわしとの関係をとらえられる。
			20	「田沼の政治と寛政の改革」 田沼の政治と寛政の改革は何が違うのか？	○			①田沼意次と松平定信の政治は、農村の維持と商品経済の発達を両立させねばならなかった幕府政治の矛盾に、違う方向から対応したものであったことを理解している。
			21	「新しい学問と化政文化」 江戸後期の学問や文化の特色は何か？	○	○		②新しくおこった国学・蘭学や庶民教育の発達が、幕藩体制の維持と動揺に及ぼした影響について、考えることができる。①この時代の絵画や文学から、化政文化の特徴を読み取ることができる。
			22	「外国船の出現と天保の改革」 国内外の危機に対して、江戸幕府はどのように対応したか？	○	○		②異国船打払令の是非について、当時の国内外の動きや蘭学者の考え方などをもとに多角的に考えている。 ①外国船の接近とそれに対する幕府の対応と藩政改革について理解している。
			23・24	☆時代の大観～近世の特色をとらえよう 「江戸時代はなぜ260年間も続いたのか」		○	○	②③なぜ江戸時代が260年間続いたのかを、幕府と町人・農民の立場などから多面的・多角的に追究し、考えることができる。意見交換【ICT】
			12 ～ 1	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国	10	25	☆時代の予想 明治時代はどんな時代だろう	
26～28	「近代革命の時代」 欧米社会にはどのような考え方がおこり、どのように変化したか？	○				○		②フランス革命の風刺画を参考にしながら、市民革命の新しい手とされた「市民」の特徴と成長の過程について考えることができる。 ①「人権宣言」の資料を読んで、現在の民主政治につながる基本的な考え方を読み取ることができる。
29	「産業革命と欧米諸国」 産業革命は、欧米諸国にどのような影響を与えたか？	○				○		②資本主義経済の特徴とそれが生み出した社会問題の内容や要因について、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。 ①産業革命が与えた影響を理解することができる。
30	「ロシアとアメリカの発展」 ロシアやアメリカは、どのように発展していったのでしょうか？	○				○		②南北戦争が起こった原因を南部と北部の対立から説明できる。 ①欧米諸国が革命を経て海外進出するようになった経緯を理解している。
31	「ヨーロッパのアジア侵略」 欧米諸国は、どのようにしてアジアを侵略したか？					○		②資本主義経済の成長と欧米諸国による植民地拡大政策とのかかわりについて、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。教科書の図版を活用して、アヘン戦争の原因や経過・結果を指摘できる。
32	「開国と不平等条約」 江戸幕府はどのように開国し、欧米とどのような関係を結んだか？	○				○		②開国が日本国内の政治や社会生活に及ぼした影響を、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。 ①教科書のグラフを活用して、外国との貿易のはじまりが日本の経済や社会生活に及ぼした影響を具体的に指摘できる。
33	「尊王攘夷と開国の影響」 開国によって、日本社会はどのような影響を受けたか？	○				○		①貿易による金銀の流出で、国内が混乱したことを、グラフや図から読み取ることができる。 ①開国により、尊王攘夷運動や民衆の動きが活発になった動きを理解している。
34	「江戸幕府の滅亡」 江戸幕府が滅亡するまでにはどのような動きがあったのか？	○					○	③幕末に活躍した人物の人間像や業績に関心をもち、意欲的に調べようとしている。①幕末の政治運動は、尊王攘夷運動から倒幕運動へ転換したことを理解している。
			35	「新政府の成立」 明治政府はどのような国づくりを目指したか？	○			①幕藩体制と中央集権体制の違いを理解し、明治政府のねらいを理解することができる。
			36	「明治維新の三大改革」 維新の改革の目的は何か？	○	○		②明治新政府が、富国強兵をめざして学制・兵制・税制の改革に努めたことを、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。①「おもしろ農民一揆」の地図などから、改革に対する不満が強かったことを指摘できる。
			37	「文明開化」 開国により明治時代の生活はどう変化したか？	○		○	③現在、自分たちが生活している地域の明治時代の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。①文明開化により、衣食住が変化したことを、諸資料から読み取っている【ICT】

1 ～ 3	2節 明治維新	8	38	☆時代の転換点 明治維新により、時代がどう変わっていったか？		○	○	②③明治維新の政策から、江戸時代までどのように変化したかを主体的に追究し、まとめ、明治の日本がどのような国を目指していったのかを考えることができる。
			39・ 40	「近代的な国際関係と国境・領土の確定」 明治政府はどのような国際関係を目指したか？		○	○	③明治維新後の沖縄や北海道の歴史に関心をもち、意欲的に調べようとしている。②西郷隆盛と大久保利通との間の国内の政治改革や朝鮮との外交をめぐる意見の対立について調べ、二人の異なる意見に対しての自分なりの考えを述べるることができる。
			41	「自由民権運動の高まり」 自由民権運動とは何か？		○	○	②自由民権運動が、日本の政治と社会の民主化の起点となったことを、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。①明治維新の諸改革が、士族や農民に不満をもたらしたことがわかる。
			42	「立憲制国家の成立」 近代国家になるためには何が必要だったのか？		○	○	②現在の日本国憲法と比べた大日本帝国憲法の特色について考えることができる。①日本はアジアで初の立憲国家となったことと、議会政治の意義を理解している。
	補充的な内容		3	生徒の学習状況に合わせて、補充的学習をおこなったり、歴史学習に関連したニュースなどを取り上げる。				○授業で学習した内容と関連する時事問題に関心をもっている。

年間合計時数

45			
観点		観点の内容	評価方法
①	知識・技能	近世から近代初期に関する諸資料を適切に読み取り、社会的事象に対する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	定期考査・ワークシート
②	思考判断表現	・近世から近代初期に関する歴史の流れや影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・政治の仕組みや産業の変化、新しい文化の誕生といった社会的な変化について多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査・ワークシート
③	主体的に取り組む態度	近世から近代初期の歴史の流れに関する諸課題について意欲的に追究している。	ワークシート・

それぞれの観点ごとに 80%以上ならA、50%以上ならB、50%未満ならCという評価になる。

評定は全ての観点の点数を合計して、90%以上なら5、80%以上なら4、50%以上なら3、20%以上なら2、20%未満は1となる。